

事前評価個表

整理番号	27
------	----

地域（地区）名	おおすみ 大隅	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	かのやし 鹿屋市ほか8市町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、本県東部に位置する大隅半島の最南端から北部にかけて位置し、西部は おおのがらだけ 大笠柄岳を主峰とする高隈山系が連なり、中央部には肝属平野が広がっている。また、東 南部にはくにみだけ 国見岳を主峰とする国見山系が連なっており、これらの山系を源として多くの河 川が、太平洋や鹿児島湾に注いでいる。</p> <p>本地区の総面積 210 千 ha のうち、森林面積は 132 千 ha（森林率 63%）、うち民有林は 84 千 ha（森林面積の 64%）となっている。また、民有林の人工林面積は、48 千 ha（人工 林率 57%）と県平均 43%と比べて高く、県内でも早くからスギを主体とする人工林化が進 められた地区であり、7 齢級以上の利用期を迎えた森林が 87%を占めている。</p> <p>本地区では、充実した森林資源を背景に活発な木材生産が行われ、しぶし 志布志港からの木材 輸出やCLT等の新たな木材需要が創出されてきている。</p> <p>このため、計画的な間伐や主伐後の確実な再造林により、「植える、育てる、使う、植 える」という森林資源の循環利用を促進し、森林の公益的機能の持続的な発揮を図ること が重要となっている。</p> <p>本事業では、間伐材の利用促進と森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、非公 共事業等との連携を図りつつ、効率的な施業に不可欠な路網整備や搬出間伐、再造林等の 森林整備を一体的かつ計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,287ha 人工造林、下刈、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：2,690m 林道開設</p> <p>総事業費：6,721,298 千円（税抜き 6,110,271 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.11 （総便益（B）=29,805,332 千円、総費用（C）=9,587,143 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の持続的な発揮を図るためには、間伐 や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、路網の整備による効 果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められ る。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図 られるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

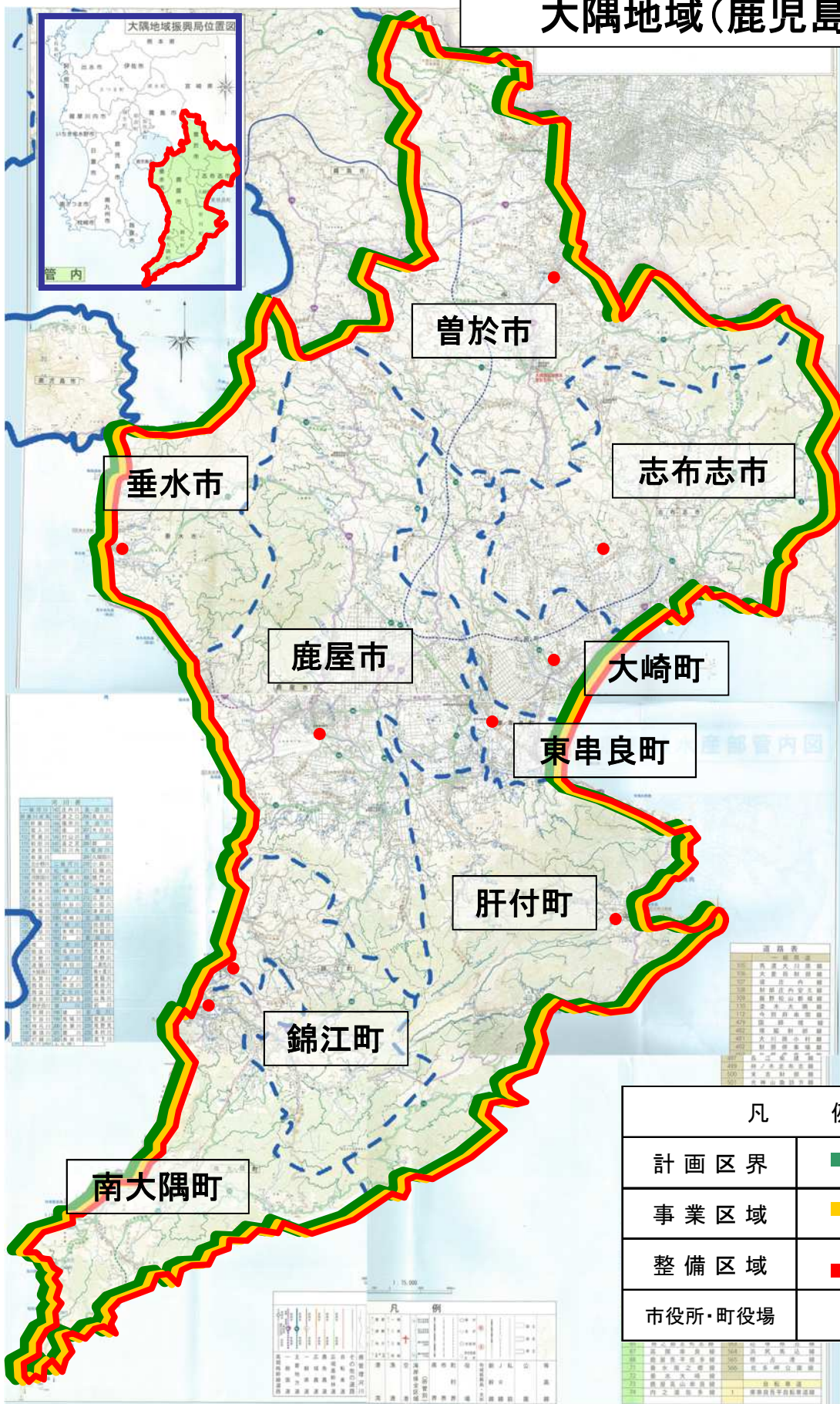
都道府県名：鹿児島県





地域(地区)名：おおすみ
大隅

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,444,594	
	流域貯水便益	4,074,434	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,969,751	
環境保全便益	炭素固定便益	4,444,548	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	755	
	木材利用増進便益	773	
	木材生産確保・増進便益	3,950,089	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	16,867	
	森林整備促進便益	341,360	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	67,714	
	災害復旧経費縮減便益	487,580	
維持管理費縮減便益		6,867	
総 便 益 (B)		29,805,332	
総 費 用 (C)		9,587,143	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,805,332}{9,587,143} = 3.11$		

森林環境保全整備事業計画 大隅地域(鹿児島県)



凡 例	
計画区界	
事業区域	
整備区域	
市役所・町役場	

森林環境保全整備事業 大隅地域(鹿児島県) 森林整備計画の状況

森林の有する多面的機能の持続的発揮をはかるため、計画的な人工造林、間伐等の森林整備を行う。

整備前の状況



整備後の状況
(イメージ)



① 人工造林(鳥獣害防止施設)



② 下刈り



③ 間伐(森林作業道)